

## ～1年生：「学問分野・職業別課題研究」～

宮城県泉松陵高等学校

### 1. 「学問分野・職業別課題研究」の目的

本校の「志教育」の全体計画において、重点指導目標として、「社会性の涵養と正しい職業観の育成により、社会の中での自分の役割を意識させ、将来にわたってのより良い自己実現のための態度を身につけさせる。」が定められている。この目標の達成に向けて、1学年では、「進路意識の高揚と早期の目標設定」に取り組むため、総合的な探究の時間に「学問分野・職業別課題研究」を実施した。今年度は個人の興味・関心や進路に応じた研究を行うために、昨年度同様、個人ごとにテーマを設定する個人研究を通し、自己の進路や在り方・生き方を考察する学習活動を計画した。研究を通じて職業観やキャリア観を明確にさせ、自己理解の深化と個性の伸長を促しながら、進路達成のための意欲を向上させることを、本研究の目的としている。

### 2. 事前活動

7月14日(水)に「各分野で活躍している社会人の方々からご自身のキャリアから得た学ぶことの意義、働くことの喜び、生きることの意味等を拝聴し、進路意識の高揚とより良い進路選択のためのキャリア教育の機会を設け、意識付けを行う」ことを目的とした『キャリアセミナー』を実施した。生徒たちは、事前に調査した受講希望をもとに22の講座のうち、それぞれ2つの講座に参加した。どの講座でも、講師の具体的な体験を交えた内容に興味を示し、大いに刺激を受けた様子であった。

### 3. 活動内容(発表準備)

全8時間の計画で実施をした。初回でテーマを設定し、2～6回で発表資料の準備、7・8回で発表となる。昨年度に続き、生徒ごとにテーマを設定し、個人で研究・発表を行った。生徒が設定するテーマは、将来つきたい職業だけでなく、興味関心のある様々な学問分野に渡っていた。初回から6回までは、それぞれが事前に用意した資料を使って、発表内容の検討と発表の際に使用する資料の作成を行った。

今年度の発表の形式は、昨年度同様、スケッチブックを用いた、個人ごとのプレゼンテーションである。スケッチブックにテーマ設定の理由や、研究内容をまとめ、Power Pointなどプレゼンテーションソフトを意識して、スライドのように複数のイラスト等を使って発表する。独自の工夫を凝らし、ユーモアやオリジナリティのあふれる資料を作ろうと積極的に取り組む姿が見られた。

#### 4. 最終発表会

昨年度同様、各クラスの教室で2時間連続の「最終発表会」を行った。発表は5名程度からなる8つの小グループに分かれて実施し、一人あたり8分間の発表時間の後に、2分間の質疑応答の時間を設けた。それぞれのグループではお互いの発表に関心を示しあい、和気藹々とした雰囲気の中で発表について感想や意見を述べ合った。発表会の最後に、それぞれのグループ毎に決定した優秀者が、壇上で紹介され、温かい拍手を受けていた。



【最終発表の様子】

#### 5. 総括

本活動を通し、社会に対する関心や職業に対する理解において、一定の成果を収めることができた。また、プレゼンテーションの技術においても、発表評価シートに意見やアドバイスを記入して渡し合うことによって、お互いの長所、短所を意識させ、改善するための手がかりを与えることもできた。

次年度は「社会の課題解決と自己実現（SDGs）」をテーマに設定している。社会の中での自分の役割を意識させ、より良い自己実現のための態度を身につけ、社会の中で果たすべき役割を自覚できるよう、活動を続けていきたい。

「発表評価シート」						
◎発表を聞いて、下の評価項目に基づき記入し、発表者に渡し、また、積極的に質問することで、さらに発表の質が良くなるようになります。						
【評価項目】および【評価項目】	以下の項目を、発表者の発表内容、内容の正確さに基づき評価してください。	とてもよい	よい	普通	よくない	最悪
・ 内容がわかりやすい、興味を持てるよう、工夫されていた。		5	4	3	2	1
・ 発表の内容に説得力があった。		5	4	3	2	1
・ 時間差有効に使い、流れがスムーズだった。		5	4	3	2	1
・ 話し声が聞き取りやすい、聞き手に伝わりやすいように話していた。		5	4	3	2	1
・ 発表の内容について、分析の鋭さや説得力があった。		5	4	3	2	1
発表者への質問やアドバイス	( ) さんへ					
※ 発表者への質問やアドバイスを必ず記入し、記入後、発表者に渡してください。						

【評価シート】